

平成30年度 南区地域福祉アクションプラン
地区別計画 進行管理表

- ① 新飯田地区…P1
- ② 茨曾根地区…P2
- ③ 庄瀬地区……P3
- ④ 小林地区……P4
- ⑤ 臼井地区……P5
- ⑥ 大郷地区……P6
- ⑦ 鷺巻地区……P7
- ⑧ 根岸地区……P8
- ⑨ 大通地区……P9
- ⑩ 白根地区……P10
- ⑪ 味方地区……P11
- ⑫ 月潟地区……P12

笑顔いっぱい「おたがい様らて」と心が通いあう新飯田

確認事項	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組みに内容等共有されていますか)	△
引継ぎをきちんとしよう (役員交代等、計画について引継ぎがされていますか)	△
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか)	△

*それぞれの項目ごとにチェック	評価
確実に行われた場合	○
一部、行われなかった場合	△
ほとんど行われなかった場合	×

推進目標に対する評価	評価
期待される取組みの90%以上達成	A
期待される取組みの75%以上達成	B
期待される取組みの50%以上達成	C
期待される取組みに50%未満	D

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組み 期待される取組み
1. 誰にとっても安心して安全に暮らせる地域づくり (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮らせるまち・高齢者が安心して暮らせるまち)	
○各家庭で災害時の避難について話し合うようにする	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災会による避難訓練の実施 ・避難所の耐震性の見直し ・自治会単位での話し合い ・避難所が手狭なため、障がい者や高齢者にとっても安全な避難所の設置場所についての検討 ・もっと避難所が必要。水害の時は2階へ避難する。民間のビルを借りるようになる(南部でそのような動きがあるところがある) ・道の駅をつかって、避難所にしようと検討し、行政に交渉したが、話は進んでいない。
○誰にとっても安全に避難できるよう、避難所の安全について検討を続ける	<ul style="list-style-type: none"> ・隣接市(三条・燕・加茂)との協力体制の構築 ・各自治会が要援護者の名簿をもとに人数や状況を収集する訓練を実施 ・避難体制づくりの明確化 ・班長による見守りなどの訓練、細かい話し合い、障がい者や高齢者を対象としたアンケートの実施
○地域ぐるみで防犯に取り組む(子どもの安全・見守りも含めて)	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全協会による登下校時の街頭指導(春・秋) ・自治協議会長、青少協による防犯パトロール ・一人暮らしや高齢者世帯のゴミ出しや見守り ・認知症の方々をあたたく見守れる地域づくり ・下校時の見守り等に、防災無線を有効活用できるように働きかける
○防犯面からの環境整備を図るための検討を続ける	<ul style="list-style-type: none"> ・公園維持管理協議会による公園の整備、トイレの清掃活動(月1回) ・回覧板や配布物は必ず声をかける
2. 一人ひとりが違うことを分かりあおう (私たちが支え合い、助けあうまち)	
○世代・立場の異なる人同士が一緒に学ぶ・遊ぶ機会として、勉強会・ワークショップ・講演会等を企画する	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング、コンサート、カーリング教室、文化講演会、ピラティスヨガ、小学校地区合同運動会、ソフトボール大会、カレンダー作り、写真コンテスト、読み聞かせ、キャンドルづくり、ふるさとキャンプ等々 ・保健会による世代間交流、ふれあい茶の間、乳幼児をもつママたち交流、老人クラブ、敬老会、新飯田まつり
○地域の人が集まる場をつくり、お互いを知る機会を増やす	<ul style="list-style-type: none"> ・各種サークル活動や行事の一覧表を作成し、PRを行う ・誰もが気軽に集まれる場が必要 ・市日で集まる、肉屋さんなど店先に椅子があり、集まる場所がある ・地域の茶の間はJA(地域生活センター)とシルバー乙女 ・男性が出てこない→男性が出てくるようにと、敬老会で劇に取り組んだ。 ・空き家の活用
3. みんなの「力」が発揮できる地域にしよう (私たちが支えあい、助けあうまち)	
○高齢者の知恵を、子どもたちへ伝承する	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統芸能伝承の会(芸能教室) ・世代間交流で、昔遊びや笹団子づくり等をおして高齢者の知恵を教える
○地域の人々の「経験・力」を生かせるよう工夫する	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもみこし、天神様、地藏様などの祭り ・農業体験、みそづくり体験など ・世代間交流の場が引き続きあると良い ・低学年と高学年など、対象別にできると良い

27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	取組み内容
B	B	B	B			<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練の前に各集会所で自治会単位で話し合いを行った。 ・障がい者や高齢者について検討はされたが、地区の中で検討内容等の情報共有はない。 ・避難訓練の前に、いくつかの自治会では障がい者や高齢者の避難誘導。避難経路等についても話し合いが行われた。
D	D	B	B			<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート調査の実施 ・高齢者だけの世帯や、高齢者と同居する世帯にもアンケート調査を実施した。
B	B	A	A			<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ出しや見守りは地域で行われている。 ・認知症の方々についても見守りが行われている。
A	A	A	A			<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に行われている
27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	取組み内容
A	A	A	A			<ul style="list-style-type: none"> ・地域の茶の間は2か所 ・市日で集まる場所が、できている。 ・区からの補助金を受けて世代間交流を行った。 ・カレンダーに行事等を記載している。
27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	取組み内容
A	A	A	A			<ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流の実施 ・教育コーディネータによる活動が活発 ・下地域のセーフティスタッフが不足している。 ・街中では、犬の散歩を兼ねて児童の見守りが行われている。 ・新飯田地域は防犯が行き届いている。

笑顔がつどう 明るい茨曾根

確認事項	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組み内容等共有されていますか)	○
引継ぎをきちんとしよう (役員の交代等、計画について引継ぎがされていますか)	○
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか)	○

*それぞれの項目ごとにチェック	評価
確実に行われた場合	○
一部、行われなかった場合	△
ほとんど行われなかった場合	×

推進目標に対する評価	評価
期待される取組みの90%以上達成	A
期待される取組みの75%以上達成	B
期待される取組みの50%以上達成	C
期待される取組みに50%未満	D

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組み 期待される取組み
1. 高齢者の楽しい地域づくり (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮らせるまち・高齢者が安心して暮らせるまち)	
○老人クラブの活動を充実させる、老人クラブを増やす	<ul style="list-style-type: none"> ・清水・上茨～皆老会、道湯・新村～老人会、下茨～五九朗会 ・畑づくり、神社清掃、日帰り旅行、収穫祭等、活発に活動 ・クラブが出来ていない地区への取り組み 庚は取組みなし、丸湯は班会、東萱場は茶の間 ・リーダーの育成、役員体制の検討 ・老人クラブ活動の充実、活性化 ・仲間づくりから発展させる ・老人クラブに限らず、サロンやグループなどの自主的な会の活用
○地域の茶の間をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・清水、上茨、丸湯、東萱場、道湯、新村では順調に開催 ・庚地域では「中途半端会」開催 ・下茨地域での新規開催 ・お茶の間だよりの発行 茶の間の取組みを皆に周知しつつ次回の開催日を案内 ・他のお茶の間との情報交換 ・お茶の間で活用できる資源の仲介役が必要
○閉じこもっている人を誘い出す	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での声かけ、訪問事業 ・高齢者や身体的に不自由な方への対応検討
2. 子どもたちの安全な地域づくり～セーフティスタッフ活動に取組もう～ (安心して子育てできるまち)	
○下校時に合わせて大人が気を配る	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の皆さんが気にかけるようになった ・子どもたちが挨拶をする。中学生になっても挨拶する習慣 ・ながら活動が定着した ・各地域から2名ずつ交通安全委員を選出した ・下校時の見守りに防災無線の有効活用についての働きかけ ・防災無線は、地域生活センター、東萱場、清水の3か所(丸湯にはない)。地区ごとにプログラミングができるが、要望が挙がってから対応を検討する
○セーフティスタッフ活動に取組む	<ul style="list-style-type: none"> ・地域では6名のセーフティスタッフが生じ、オレンジのジャンパーで活動中 ・セーフティスタッフの活動に、交通安全協会が協力している ・白南中では環境安全委員長が、また茨曾根小学校はPTA3役がセーフティスタッフとして活動している ・地区の危険ヶ所の把握(マップの作成) ・全自治会での活動の周知とスタッフの募集を行う ・学校と地域のセーフティスタッフの交流、及び連携が必要 ・地区の危険ヶ所(通学路)の見直し(マップの作成等)
○子どもにも、地区の取り組みを伝える	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の朝会で顔見せを行い、子どもたちに活動を伝えることができた ・顔の見える関係をつくる(多世代交流や茨曾根応援団の活用など) ・誰もが集まれる大きな集まり(イベント)を行う ・27年度に児童館がオープン～高齢者もいっしょに「参加型イベント」の実施

27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	取組み内容
C	C	B	B			<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブは高齢化と畑仕事ばかりで嫌だと退会され参加できない人が増えている。新たな人が入らない。 ・秋の旅行のときは参加者が多い。 ・寄日会(第二土曜夜)で一家の長男が必ず入り、悩み事を聞き話し合いをしている。(下茨) ・年に1回年忌をしている。用水機場の除草、ふれあいセンターの障子の貼り換えをしている(道湯) ・おやじの会に高齢者をどう巻き込んでいくか(庚)
B	B	B	B			<ul style="list-style-type: none"> ・上茨の茶の間は役員になりたくないという理由から休止状態になった。集まっても愚痴になるので行かなくなった。 ・東萱場は自治会長がまとめているが、実際中心となる人が会の中にいるが、後継者がいない。男性の参加者がいない。 ・目的をもつと人が集まる。茨曾根健康百歳体操を茨曾根地域で活用する。 ・世代の違いから新しい人が入らない。 ・お茶の間だよりが発行できていない。
A	A	A	A			<ul style="list-style-type: none"> ・継続的に訪問している。 ・庚は一人暮らしの人が多い。
27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	取組み内容
A	A	A	A			<ul style="list-style-type: none"> ・下校時に合わせて犬の散歩をしている。 ・子どもの数が減っており、1年生が一人で歩いているのを見かけるので学校と集団下校等の提案が必要。 ・低学年が課題。 ・交通安全委員は交通安全運動の時だけ活動をしているように見える。
A	A	A	B			<ul style="list-style-type: none"> ・青少協、安協、セーフティスタッフの横の連携がない。 ・朝夕の登下校時子どもたちと一緒に歩いている(道湯) ・8号沿いでは新1年生のために春の1週間見守りをしている。 ・白南中は年に1回の見守りのみ。
A	A	A	A			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを大事にしていこうという目的で、春祭り、秋祭りでは子どもたちに食べ物を無料にしている。(おやじ会) ・ウェルカム参観日にどなたでも自由に参観でき、その後どんと焼きで子どもたちに古い習慣などを体験させている。 ・学校行事に自治会長、老人会も協力している。 ・地域での挨拶はできている。

- ・自治会長が忙しすぎる。
- ・計画の管理は年に1度地域で確認することは必要だが、意識が希薄
- ・幅広い年齢層が集まらなると地域に広まらない。

声かけ会 話しあう 助け合う 沢山の合(愛)がある 庄瀬

確認事項	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組みに内容等共有されていますか)	△
引継ぎをきちんとしよう (役員交代等、計画について引継ぎがされていますか)	△
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか)	△

*それぞれの項目ごとでチェック	評価
確実に行われた場合	○
一部、行われなかった場合	△
ほとんど行われなかった場合	×

推進目標に対する評価	評価
期待される取り組みの90%以上達成	A
期待される取り組みの75%以上達成	B
期待される取り組みの50%以上達成	C
期待される取り組みに50%未満	D

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取り組み 期待される取り組み
----------------------	-------------------------

1. みんなの居場所づくり～誰もがいつでも気軽に集える場を～ (安心して子育てできるまち・障がいのあるひともない人も安心して暮らせるまち・高齢者が安心して暮らせるまち)	
○歩いて来られる場所に集いの場 (地域の茶の間)をつくようにする	<ul style="list-style-type: none"> ・菱潟、次郎右門興野、新道島クラブ、親友会、優心、じじ会など ・真木や上八枚など定期的な集まりがある。、ゆうわ会(青年会) ・集落で集まろうにも地形的に細長く、集まるのが難しい面がある ・自治会単位での話し合い ・子育て中の親世代の集まる場 ・空き家を改修し、お茶の間にする ・避難所が手狭なため、障がい者や高齢者にとっても安全な避難所の設置場所についての検討
○男性・女性・障がい者・高齢者・子ども・の交流の機会をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会、子ども会中心のお楽しみ会 ・夏祭り(子ども神輿)、音楽会(お寺コンサート)、ママさんバレー、野球リーグ戦(年3回)、卓球、カーリング ・若者世代が中心となって、地域に声掛け ・地域生活センターロビーを活用した交流の場(誰でも利用できる居場所づくり)
○忙しい地域からも参加できる工夫を検討する	<ul style="list-style-type: none"> ・桜まつりやライトアップや写真コンテスト(小学校文化祭にて開催。庄瀬の良いところの写真をカレンダーとして作成) ・庄瀬農村公園祭り→庄瀬まつり、スポーツ大会、花火大会等の総合プログラム ・整地をして桜をもっと植え、盛り上げたい
○閉じこもってしまう方々を既存の事業(見守り事業、安否確認等)に誘う、声かけ、情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・健生病院班会、老人会(2班)の活動 ・高齢者同士が声掛け(見守り、安否確認等) ・近所のお年寄りが茶飲みをやっている。ゴミ出しを協力してくれる人がいる。 ・庄瀬市(1・6)寄り合い場所(八百屋2軒)送迎や配達をしてくれる(駐在さんも来る) ・孤立している人はいないが、拒否をする人がいる。 ・新しいカタチの老人会の構想 ・老人会の名称がネック。
○集まる場を増やして、情報交換及びボランティア活動の場とする	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会で高齢者の集まり ・農村公園祭り、桜まつり、保全会の花植え ・長寿を祝う会、芸能祭、防災訓練 ・球根植え、クリーン作戦、空き缶ひろい ・イベントなど様々な企画でやっているがまだまだ改善点はある ・声かけ、安否確認などのボランティアを増やす ・地域交流や世代交流の場の拡充

27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	取り組み内容
D	D	C	B			<ul style="list-style-type: none"> ・集会所のあるところでは集まりがある ・病院の班会活動の集まり(真木、沖新保、十二道島、上八枚) ・菱一の茶の間(月1回) ・H30年4月から地域の茶の間「もくば」を開催(月1回) ・H30年8月から放課後児童クラブ「しょうぜっ子」を試行的に開設 ・「もくば」に子育て世代の親が集まって活動している
C	C	A	A			<ul style="list-style-type: none"> ・3地区合同の神輿 ・若い世代が年3回野球大会を開催(庄瀬以外からも参加) ・その他卓球、カーリング、カラオケ大会、夏祭り ・地域生活センターで月1回の若者の集会 ・新飯田・茨曾根地域と合同でバレーボール大会を実施 ・H29年度に地域生活センターの一部を回収しに誰でも気軽に集える場所「もくば」を開設
A	A	A	A			<ul style="list-style-type: none"> ・調整池に桜を植樹 ・クリスマス時期にイルミネーションコンテストを実施
B	B	A	A			<ul style="list-style-type: none"> ・近所同士の集まりがある。(個人宅) ・市日の露天に集まれる場所ができる。 ・地域生活センターの情報誌「もくば通信」を月1回発行(全戸配布)
B	B	B	B			<ul style="list-style-type: none"> ・庄瀬の行事の一環として行っている。 ・児童生徒とのあいさつ運動、セーフティスタッフ活動 ・ボランティア団体や活動が少ない ・何かやりたいという気持ちのある人とやってほしい人とのコーディネートが出来ていない

2. 一人ひとりが違うことを分かりあおう (私たちが支えあい、助けあうまち)	
○子どもたちの下校時の安全を地域で守る	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校時の声かけ見守りの実施 ・小学校であいさつ運動実施 ・民生委員による運動 ・セーフティスタッフの確保と拡充 ・下校時間帯の見守り体制 ・防犯カメラの設置
○災害時の支援体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織 ・高齢者同士が声かけあえる地域 ・隣近所で見守りができる体制 ・日中、残っている人で支え合える体制づくり ・災害時、安否確認ができる体制づくり

27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	取り組み内容
B	B	B	B			<ul style="list-style-type: none"> ・登下校時の声掛け等は行っているが、体系化されていない部分がある
A	A	A	A			<ul style="list-style-type: none"> ・体制整備も含め防災への取り組みはできている ・身近な地域でのAEDの設置

・地域の特徴として細長い集落で、高齢者には集まる場所が距離的に無理がある。
 ・老人クラブ2つしかない。庄瀬本村作ろうとするが上手くいかない。

声かけ合い 心をつなぐ 小林地区

確認事項	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組んだ内容等共有されていますか)	○
引継ぎをきちんとしよう (役員の交代等、計画について引継ぎがされていますか)	△
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか)	△

*それぞれの項目ごとでチェック	評価
確実に行われた場合	○
一部、行われなかった場合	△
ほとんど行われなかった場合	×

推進目標に対する評価	評価
期待される取組みの90%以上達成	A
期待される取組みの75%以上達成	B
期待される取組みの50%以上達成	C
期待される取組みに50%未満	D

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組み 期待される取組み
1. 高齢者・障がい者・子どもがつながりを感じられる交流の機会を充実させる (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮らせるまち・高齢者が安心して暮らせるまち)	
○自治会での目的や年齢にこだわらない定期的な集まりを開催する	・子ども会、防災会、子ども見守り隊、防犯パトロール、地域の茶の間 ・男性が集まりに出てこないで、目玉を考える (リハビリ、マッサージ、軽い運動、女性が誘う等) ・趣味のサークルなどで交流の輪を広げる(介護予防になる)
○高齢者に限定したお茶の間だけでなく、若い世代を含めて集まれる場を実施する	・地域の茶の間、ふれあい昼食会、敬老会 ・世代間+障がい者も交えた交流事業 (地域の中で障がいに対する理解を得、顔の見える関係づくりを構築す ・施設と地域の交流事業 小学校の父母たちはにバリアフリーの認識が深まっているが、地域全体ではまだ深まっていない ・男性の茶の間をつくる
○単発でなくその後の繋がりが感じられる活動をする	・地域の茶の間、ふれあい昼食会、歳末訪問活動等声掛け ・老人クラブのボランティア活動 ・ウォーキング等、自然に参加できる健康づくり ・近所の見守りや声掛けが必要 ・認知症になった時に近所に伝え、協力を得ることができるようになる ・曜日を決めて、乗り合わせによる買物支援(有償ボランティアの育成が必 公民館事業で人材育成ができないか) ・老人クラブの会員を増やす
○祭りのようなイベントを検討する	・春秋の祭礼、運動会、卓球大会、カーリング大会、文化祭、敬老会、ひなコンサート ・ひなまつりコンサートは定着、祭礼は、日曜日の開催へ(神社に相談)コンサート ・継続した活動へ
2. 地区の皆が地域活動情報を知る (私たちが支えあい、助けあうまち)	
○チラシを配布するだけでなく声をかけ、直接一生懸命誘う！！	・年3回の声掛け訪問 ・話しやすい雰囲気をつくる(配布物の際にひと声かける)
○地区の各団体の役員になることで地区活動を知ることができるため、役員を増やすことを検討する	・コミュニティ協議会の部会、専門班の組織化 ・検討会の継続
○地区住民も積極的に情報を得る努力をする	・自治会長協議会・コミュニティ協議会との連携活動 ・コミ協だよりの発行回数を増やし、写真など見やすくした ・地域の関係団体と災害時の検討を重ねた ・回覧や案内チラシを渡す際に、ひと声かける
3. 子育てを地域住民で支援しよう (私たちが支えあい、助けあうまち)	
○地域ぐるみで子育てを支援しよう	・こばっ子クラブに地域住民が支援する(学童クラブのスタッフは熱意があ ・登下校時の見守り ・子供の通学時に合わせて犬の散歩をする ・退職された方々に協力頂き、子供たちの見守り活動に参加してもらう ・畑仕事をしている人から声をかけてもらう ・こばっ子クラブの運営に地域の大人が協力し、生活の基本や社会規範を教える

27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	特記事項
B	B	B	B			・月2回の輪投げ、田植えの手伝い、日帰り温泉等男性が参加したいと思えるような内容にしたところ参加者が増えた。 ・老人会は現在60歳以上で活動を行っているが、活動の場を広げて行く必要がある。
B	B	B	B			・車いすの利用者も今後増えていく。災害時も念頭に生活センターのトイレを多目的トイレにしたいと検討している。 ・若者リーダーへ先輩が優しく声をかけ、平日頃の意識を高める。
A	A	A	A			・歳末訪問は喜んでもらえる。 ・新津フードの移動販売を櫛笥の一部も利用。 小林にどれだけの買い物難民がいるか。 ・ぐるりん号をどう利用するか、どうPRしていくか、実行委員会を設けて揉んでみてはどうか。(まずは関係者で利用体験する) ・ふれあいウォーキングを2回に検討。
A	A	A	A			・継続的に活動している。
27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	特記事項
B	B	A	A			・団地との付き合いがない。ため、世代間でのネットワークを活用する。2世帯住宅だと若い人へ回覧が回っていないのでは。
B	B	A	A			・各部会で話し合った結果、役員を増やす等組織変革を行った。
B	B	B	A			・自治会だけでなく、各部会を積極的に巻き込んでいく。 ・各部会の情報等をスマホ(SNS)を通じて発信できないか。 ・自治会長の任期を2年にして活動内容を理解してもらうことを提案。
27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	特記事項
A	A	A	A			・登下校の経路を再検証して、マップを作ったり見守り活動を行ったりしている。

「やろってば！」笑顔で仲良く臼井地区

確認事項	評価
地域の関係者で共有しよう（地域の関係者で、地域の課題、取り組んだ内容等共有されていますか）	△
引継ぎをきちんとしよう（役員の交代等、計画について引継ぎがされていますか）	△
住民にきちんと伝える機会をつくろう（地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか）	△

*それぞれの項目ごとでチェック	評価
確実に行われた場合	○
一部、行われなかった場合	△
ほとんど行われなかった場合	×

推進目標に対する評価	評価
期待される取組みの90%以上達成	A
期待される取組みの75%以上達成	B
期待される取組みの50%以上達成	C
期待される取組みに50%未満	D

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組 期待される取組
1. 交流・仲間づくりができる集まる場がある地区 (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮せるまち・高齢者が安心して暮せるまち)	
○地区の既存組織を大切に育てるとともに連携する	<ul style="list-style-type: none"> ・2カ月に1回のコミ協総務委員会など、複数回での会議、集まり ・定期的なお茶の間の活動(4か所) ・自主防災会による避難訓練の実施 ・臼井桜寿会が地域で集まり茶の間をやっている。(4~5人) ・中学校の同窓会を組織化したい。(臼井地区は卒業した中学校が一本化していない) ・中心となるリーダーの育成
○既存の事業を活発にする (狸の婿入り、敬老会)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の茶の間 ・狸の婿入り(写真コンテスト) ・伝統芸能の棒おどりを中学校の体育祭で披露 ・交流の拠点として商店街の空き店舗の活用→ 地域全体の交流イベント ・各団体が協力し合うことでより良いものができる ・既存事業を活発にしながら多世代交流できる 新しい事業もつくりたい
○送迎を含めてだれでも参加できる方法を検討する	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会するとき、送迎している自治会がある ・移動手段についての検討 ・敬老会に大勢参加してもらうための取組み
○事業者も地区の一員、積極的に交流を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流まつり(感謝祭)の開催 ・地域の交流拠点やボランティア活動の推進
2. ボランティアや地区活動を理解し関心をもてる地区 (私たちが支えあい、助けあうまち)	
○あいさつ運動を実施する	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動→標語・ポスター募集、優良作品の選定、表彰、のぼり旗など ・あいさつ運動を見守りにつなげていく ・あいさつ運動を地区全体へ広める
○ボランティアや地区活動に積極的に参加する	<ul style="list-style-type: none"> ・食育・生活指導を行っている ・食生活改善推進委員による食育・生活指導 ・福祉施設でのボランティア活動 ・花植え、読み聞かせなどボランティア活動 ・子どもの登下校の見守り
○行事や活動の情報提供とPRを努力する	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事等を含むカレンダーを作成 →活動のわかる写真を掲載して情報を発信 ※回覧板やチラシなどの配布物は声を掛けて情報提供

27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	取組み内容
B	B	B	B			<ul style="list-style-type: none"> ・総務委員会は定期的開催している。 ・自主防災会による避難訓練を実施している。 ・臼井桜寿会は、月1回の集まりを継続している。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 今後： <ul style="list-style-type: none"> ・茶の間を増やしていきたい。 ・同窓会は、役割を持つ会として充実させた </div>
A	A	A	A			<ul style="list-style-type: none"> ・商店街シャッターアート制作。 ・戸石地区で、樽たたきの復活を検討している。 ・臼井地区長澤履物屋の空家を活用して、何かでないか検討している。 ・多世代交流(カーリング、認知症講座)の実施。(臼井中学校と地域住民)
A	A	A	A			<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会の送迎を自治会で実施している。 ・狸の婿入り行列で、伊万里のバスを借用し、送迎を行った。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 敬老会も全地区送迎できるといいが、行政の敬老会に対する予算がどうなっていくのか未定の状態である。 </div>
A	A	A	A			<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流まつりの開催。参加者は年々増えている。
27年度	28年度	29年度	29年度	31年度	32年度	取組み内容
A	A	A	A			<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動の実施。(昨年に引き続き、プランタ等) ・今年度新規として、あいさつ犬を実施。(犬の散歩をしながら見守り、あいさつ活動)
B	B	A	A			<ul style="list-style-type: none"> ・食育、生活指導の実施。(子どもクッキング、地域住民との味噌作り等) ・保育、小、中学校での読み聞かせ活動(延べ100人のボランティアが活動をした)
B	B	A	A			<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事カレンダーを作成し、全戸配布している。

なじらね～？と声をかけあう大郷地区

確認事項	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組んだ内容等共有されていますか)	△
引継ぎをきちんとしよう (役員交代等、計画について引継ぎがされていますか)	△
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか)	△

*それぞれの項目ごとにチェック	評価
確実に行われた場合	○
一部、行われなかった場合	△
ほとんど行われなかった場合	×

推進目標に対する評価	評価
期待される取組の90%以上達成	A
期待される取組の75%以上達成	B
期待される取組の50%以上達成	C
期待される取組の50%未満	D

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組み 期待される取組み
1. 支えあいの関係づくり (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮せるまち・高齢者が安心して暮せるまち)	
○隣近所と普段からのコミュニケーションを持つ(あいさつ声掛けをする)	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校のあいさつ運動の強化週間の取り組み 挨拶は基本。大人から積極的に声を掛け、子供の目線で挨拶をする
○昔ながらの声を掛け合う関係を若い世代に継承していく	<ul style="list-style-type: none"> 大鷲夜まつりで多世代が交流できる →親と子がつながることで、地域もつながる しめ縄づくりで世代間交流 地域交流イベントなどを実施しながら声を掛け合う関係を伝えていく 小学校とのタイアップ(多世代交流イベントの実施)
○せっかくまだ残っている隣組の良い部分をうまく残していく	<ul style="list-style-type: none"> 最近では冠婚葬祭のみの関係 クリーン作戦(年1回)は全戸参加→安否確認、多世代交流 隣組を活用して緩やかな見守りを実施したい 回覧板や配布物は必ず声を掛ける
○みんなが大郷地区のことや活動に関心を持ち、地区の活動を理解し、積極的に参加する	<ul style="list-style-type: none"> 地域の茶の間 お弁当のお届け(給食サービス事業) 安心箱支給事業 友愛訪問活動(安否確認) 回覧板や配布物は必ず声をかける 回覧板の工夫 ①デザイン ②キャッチフレーズ ③季節ごとの標(子どもたちから募集) お弁当やおせちの配食、友愛訪問の際に子どもたちからのメッセージを入たり、一緒に配る
2. 集まる場づくり～年代、目的に関わらない誰でもいつでも寄れる場所を目指して～ (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮せるまち・高齢者が安心して暮せるまち)	
○情報の宝庫である“地域生活センター”を拠点に情報や行事を発信し、各集会所へ広げていく	<ul style="list-style-type: none"> サークル活動や学童クラブ、子育てサロン、健康体操(いきいき会)等でセンターを活用 健康寿命を延ばす 地域の方々が集まる場づくり
3. 安心して暮らせる地域づくり (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮せるまち・高齢者が安心して暮せるまち)	
○災害時のしくみづくりを進める	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災会を中心とした年1回の防災訓練を実施 災害時のマニュアルづくりや地域福祉マップづくり 防犯対策の検討

27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	取組み内容
A	A	A	A			・通年、登下校時の児童、生徒と積極的に挨拶を交わしている
A	A	A	A			・夜祭に園児、児童、生徒の発表をしてもらったり、各集落ごとの祭りにも参加してもらっている ・また、学校事業へ地域住民が参加し、交流を図っている(カーリング、昔遊び等) ・小学校でのシニアクラブの実施 ・学校ボランティアの増加
B	B	B	A			・年1回のクリーン作戦に全戸及び子ども会も参加している ・普段からお隣への声かけが行われている ・お祭りの前のお宮掃除にはたくさんの人が参加している ・公園の清掃(草取り)年2回実施 ・乗り合いバス等の周知(実際に利用してみる) ・ゴミ出し支援の助成事業を周知活用
B	B	A	A			・お弁当やおせち料理の配達時に地域の子供達からのメッセージや絵を添えて高齢者に配布している ・子供たちと一緒に配布している ・回覧板での情報発信を続ける
27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	取組み内容
B	B	B	A			コミ協事業への参加者が多い。 下赤浜地区で年4回の集まる場づくりが定着化(赤浜会) 下大郷1・2、瀬ヶ通で班会を実施 郷の会(毎月)実施 下笠巻老人会で茶の間実施 犬帰新田地域でお試し茶の間実施
27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	取組み内容
C	C	C	B			コミ協主催自主防災訓練実施 子供むけ訓練を取り入れた 新年度に向けて小学校との合同防災訓練を検討

全員集合！鷺巻地区 ～笑顔の和を広げよう～

確認事項	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組んだ内容等共有されていますか)	○
引継ぎをきちんとしよう (役員の交代等、計画について引継ぎがされていますか)	△
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか)	×

*それぞれの項目ごとにチェック	評価
確実に行われた場合	○
一部、行われなかった場合	△
ほとんど行われなかった場合	×

推進目標に対する評価	評価
期待される取組の90%以上達成	A
期待される取組の75%以上達成	B
期待される取組の50%以上達成	C
期待される取組の50%未満	D

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組み		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	取組み内容
	実施している取組み	期待される取組み							
1. 集落に集いの場をつくる (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮せるまち・高齢者が安心して暮せるまち)									
○各集会所を拠点とする体制づくり	・お茶の間の新規開設(中鷺ノ木地区)		A	A	A	A			・リーダーはいないが、カギ当番を決めてみんなで運営している。(中鷺ノ木) 課題: 今後、少しずつ増やせるよう検討していきたい。
	・各集落にお茶の間をつくるにはリーダーが必要 ・中鷺ノ木の茶の間をモデル(リーダーや世話人のいない運営)								
○多世代交流の(機会)場をつくる	・大鷺夜まつり→新しい世代交流活動 →小・中学校との連携で祭りの内容が多彩 ・(桜町)集会所を利用したサークル活動(卓球・カラオケなど) ・桜灯籠まつり(4月中旬/実行委員会方式) ・植栽活動(鷺巻地区保全会の立ち上げ)		A	A	A	A			・大鷺夜まつりを盛大に開催。多世代が大勢集まり、今年度は、600人の参加があった。スタッフも100人位で、力を合わせて行っている。 ・サークル活動をしている人数が減ってきている。理由は高齢化に伴い、足腰が弱くなったため。夜は将棋も行っているが、老人クラブ主催ではないので、誰でも、他の町内でも参加可能である。これも茶の間の存在である。 ・灯籠まつりは今年5回目。サックス演奏や踊り等工夫しながら開催している。 ・植栽活動は保育園児との交流等も含めて取り組んでいる。(ひまわり等の花やさつまいも植えなど様々行っている) 今後: 多世代交流を継続して行って行きたい。
	・交流の場をつくる →子供が集まる行事は他の世代も集まる ・地域の環境整備活動で地域の繋がりが顔が見える (花植え、クリーン作戦)								
○既存の事業の拡充(お茶の間)	・下鷺ノ木、桜町、鷺巻いきいきサロンの開設 →参加者が減少		D	D	C	C			・今一衰退している状況がある。 ・地域の茶の間「はたちの会」は、中鷺ノ木自治会内でチラシの回覧を毎年行い、周知や参加の呼びかけを行っている。他の町内の参加も可能である。 課題: 自治会回覧や参加者からの声かけなど工夫が
	・今あるお茶の間を継続していくことが大切 ・集会所を大いに活用し、集まることから始める ・健康寿命を延ばす活動→病院の班会を利用する								
○ボランティアリーダーの育成を図る			D	C	C	C			・2年前は南区コミ協対抗綱引きをすることで、リーダー発掘育成等に力をいれたが、今年は検討した結果、危険であること、人が集まらないという理由で中止となった。 課題: 来年は育成できるようみんなががんばりたい。
	・リーダーを育てる仕組みが必要 →コミ協、行政、社協に期待								
○老人クラブの活性化	・植栽活動を通して多世代交流をする		D	D	D	C			・現在地区内の老人クラブは2団体ある。桜町は様々な活動をして頑張っている。今年は70～75歳代の人々が数名加入された。
	・老人クラブと保全会との協働 ・健康寿命を延ばす活動								

明るく いきいき すこやか 根岸もん

確認事項	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組んだ内容等共有されていますか)	△
引継ぎをきちんとしよう (役員の交代等、計画について引継ぎがされていますか)	×
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか)	△

*それぞれの項目ごとにチェック	評価
確実に行われた場合	○
一部、行われなかった場合	△
ほとんど行われなかった場合	×

推進目標に対する評価	評価
期待される取組の90%以上達成	A
期待される取組の75%以上達成	B
期待される取組の50%以上達成	C
期待される取組の50%未満	D

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組み
	期待される取組み

1. お茶の間を全地域につくろう (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮せるまち・高齢者が安心して暮せるまち)	
○新規のお茶の間を立ち上げる	<ul style="list-style-type: none"> ・9か所のお茶の間、サロン活動 ・地区集会場を活用したサロンの立ち上げ
○既存のお茶の間の事業の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・お茶の間交流会 ・子供、大人の垣根をなくした集まり ・ひまわりクラブと地域の高齢者の交流 ・案内チラシや回覧板の工夫 ・ネーミングの変更 ・子供たちのに昔遊びを教える
○隣近所との協力体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・あやめ祭りをはじめとした各種祭り ・伝統芸能 ・米づくり ・回覧板の見直し ・ちょっとしたおせっかいが大切 ・登下校時の見守り活動で声掛け ・ラジオ体操に多世代が参加
○趣味のサークル等をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・カーリング大会 ・ゲートボール大会 ・輪投げ大会など ・案内チラシや回覧板の工夫
○リーダーの育成を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・各種活動を通じ、リーダーの自然発生 ・役員の引継、途切れない仕組みの構築 ・役員改選時の勉強会実施や事業手順書の作成
○地域で要援護者が取り残されないような体制づくりをする	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織の立ち上げ ・根岸地区図上訓練の実施 ・防災訓練 ・ちょっとしたおせっかいが大切

27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	取組み内容
C	C	C	C			<ul style="list-style-type: none"> ・既存のお茶間の実施 ・新規のお茶の間の立ち上げなかったが、地区集会場を使って、グループ活動を実施
B	B	B	B			<ul style="list-style-type: none"> ・参加者同士で声を掛け合いながらお茶の間に参加している ・地域交流会として、輪投げ大会を実施し、各地区より多数の参加者があつた ・地域の婦人会や老人会が定例の活動を実施した ・地域包括センターと情報交換を定期的実施
B	B	B	A			<ul style="list-style-type: none"> ・あやめ祭りを実施 ・その他各自治会の祭りは春・秋2回実施 ・小中学生や地域住民と協力した各種事業の実施(桜ロードのウォーキング&ゴミ拾い、あやめ祭り水路の魚調査、サツマイモ堀体験など) ・防犯、見守りを兼ねたウォーキング活動の実施
A	A	A	A			<ul style="list-style-type: none"> ・あやめ祭同日で各大会実施 ・カーリングは1月にも単独でも開催 ・ゲートボール、手芸サークル、カラオケ、ゴルフなどを行っている地区がある
C	C	C	C			<ul style="list-style-type: none"> ・役員改選時の引継ができていない ・引継所の作成を検討 ・リーダーの育成は特に行ってない地域が多い
A	A	A	A			<ul style="list-style-type: none"> ・根岸小学校と合同で防災訓練を実施 ・要援護者に一人一人に対し、自治会役員を担当者として割り当てている ・防災部を新たに立ち上げ、体制作りを図った

老いも若きもスクラム組んで、住んで楽しい大通

確認事項	評価	*それぞれの項目ごとでチェック	評価	推進目標に対する評価	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組んだ内容等共有されていますか)	△	確実に行われた場合	○	期待される取組の90%以上達成	A
引継ぎをきちんとしよう (役員交代等、計画について引継ぎがされていますか)	△	一部、行われなかった場合	△	期待される取組の75%以上達成	B
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか)	△	ほとんど行われなかった場合	×	期待される取組の50%以上達成	C
				期待される取組の50%未満	D

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組み 期待される取組み	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	取組み内容
1. みんなで参加・交流・理解 (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮らせるまち・高齢者が安心して暮らせるまち)								
○学校と地域との協力体制をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の授業や行事に地域ボランティアが積極的に協力している。(老人会の出前授業他) ・「大通小学校見守りたい」を結成(登下校の見守りマップを作成) ・地域住民への活動の周知 ・周知活動の強化 ・子どもたちへ活動の意図を理解させる工夫が必要 ・見守りたいとセーフティスタッフを核とした見守り活動の充実 	B	B	B	B			<ul style="list-style-type: none"> ・学校だより、小学校の花は自治会費から出ている。センター、郵便局への花植えを生徒がしている。ふれあい公園の草刈りに小・中学生が参加しているので学校の様子が伝わる。しかし、地域から子どもたちへの感謝の気持ちをアピールできていない。 ・見守り隊の地図の見直しが必要。
○各種団体等の協働を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会、老人会、子ども会、PTA、セーフティスタッフ、民生児童委員、保健会、食生活改善推進委員、地域ボランティア、コミ協などの相互連携(防災訓練・大通地域合同クリーン作戦など)(老人会の出前授業他) ・社会福祉協議会との協働 ・多世代交流、子どもたちの見守り活動、PTA活動、老人会など、もっと情報発信、活動を見える化し理解者を増やし連携を強化する。 	A	A	B	B			<ul style="list-style-type: none"> ・大通1・2と黄金のイルミネーション等、多世代交流活動は増えている。アグリパークでどんと焼き。 ・役員、PTA、老人会の交流は出来ている。 ・セーフティスタッフの住民周知ができていない。 ・思いやりネットは地域住民がスタッフとなっている。
○既存事業を拡充し多世代交流の機会をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生と老人会共同ゴミ拾い ・地域の茶の間、子育て講演会、大通夏祭り、大通レクリエーションフェスティバル(スポレク)、大通地区文化祭、ふれあい昼食会、敬老会等の開催 ・事業のPR、広報の仕方に工夫が必要 ・自治会単位でお茶の間をつくる(自治会の後押し必要) ・元気な高齢者が集まれるサークルづくり ・集会所の利用を増やす(地域に大いに使ってもらおう) ・地域住民の交流と健康づくり 	B	B	C	C			<ul style="list-style-type: none"> ・団塊の世代の人たちを老人会にいかに参加してもらおうか。

推進目標 (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮らせるまち・高齢者が安心して暮らせるまち)	実施している取組み 期待される取組み	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	取組み内容
2. みんなで作ろう安心安全 (安心して子育てできるまち・障がいのある人もない人も安心して暮らせるまち・高齢者が安心して暮らせるまち)								
○地域内でみんなの声かけ	<ul style="list-style-type: none"> ・コミ協だより、防犯だよりの発行 ・青色パトロール車による防犯活動の実施 ・夜間パトロールの実施 ・高齢者世帯の見守り支援 ・高齢者の見守り、支援体制づくりの充実 ・団体活動PR版など町内で保存版とする ・ウォーキングや犬の散歩を利用した見守り活動 	B	B	C	C			<ul style="list-style-type: none"> ・自治会役員にコミ協だより配布。自治会単位で動いている。 ・受け取る側からの安心・安全について見直さなくてはならない。
○隣近所との協力体制をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練や日頃の連絡網を使用して協力体制の構築 ・老人会の友愛訪問活動 ・活動の資料を整理し、次の役員へ引き継いでいく体制づくり 	B	B	C	B			<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が非協力的。
○災害時に対する避難体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・大通全地区の防災訓練実施 ・自治会独自の緊急連絡網の整備 ・自治会単位での避難訓練 ・平日の昼間を想定した避難訓練 ・災害時要配慮者への救援体制づくり 	D	D	C	B			<ul style="list-style-type: none"> ・防災については民生委員、自治会で個別の避難誘導計画があり意識が高まってきた。自治会単位でマップ作りができることが目標。黄金北では1人に対して複数で見守るというシステムが出来ている。住民の同意書について個人情報問題もありどのようにするのが課題。

みんなにやさしい シロネもん

確認事項	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組んだ内容等共有されていますか)	○
引継ぎをきちんとしよう (役員の交代等、計画について引継ぎがされていますか)	○
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか)	○

*それぞれの項目ごとにチェック	評価
確実に行われた場合	○
一部、行われなかった場合	△
ほとんど行われなかった場合	×

推進目標に対する評価	評価
期待される取組みの90%以上達成	A
期待される取組みの75%以上達成	B
期待される取組みの50%以上達成	C
期待される取組みに50%未満	D

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組み 期待される取組み
1. 集まる場をつくらう (安心して子育てできるまち、障がいのある人もない人も安心して暮せるまち、高齢者が安心して暮せるまち)	
○お茶の間活動を充実させる	<ul style="list-style-type: none"> お茶の間(ことびき、能登栄町、東幸町、憩いの場、十五間、日の出町、から楽らく会、みんなの茶の間、元気会、かけ橋、清楽苑、天昌堂) 空き家活用できないか 周知活動の強化
○気軽に誰もが集まれる場づくりを検討する	<ul style="list-style-type: none"> 商店街で定例会、公園の草取り(年3~4回)お祭り前に神社の草取り 地域の人が集まるきっかけづくり 町内会など小さな単位の集いの場づくり
○心配な人に対する訪問活動を検討する	<ul style="list-style-type: none"> 民生委員の訪問活動、日の出町のネットワーク活動、自治会班長の声かけ(配布物届の際)、住民同士で気にかけている 子ども会から行事など声かけ 保健会と老人会がタイアップした活動
○地区のみんなが顔見知りになるための活動を検討する	<ul style="list-style-type: none"> 花見、まつり、新年会、お茶の間等で交流 町内会総会を兼ねた懇談会 町内会での茶の間の立ち上げ 町内で上記にあるようなイベント検討
2. みんなが地域の情報を知る (安心して子育てできるまち、障がいのある人もない人も安心して暮せるまち、高齢者が安心して暮せるまち)	
○地区活動のPR方法を各実施主体が工夫する	<ul style="list-style-type: none"> コミ協だよりの発行、ホームページ、ポスター、チラシ、回覧板 町内会の集まりで情報提供、学校だよりの回覧 配付物を目にとめてもらう工夫 団体活動PR版など町内で保存版とする
○お茶の間など集まる場を活用し、地区の活動などを共有する	<ul style="list-style-type: none"> 茶の間や自然に集まる場があり地域情報を得ている 情報を得る場としてお茶の間を広める 茶の間等に参加できない人への対応
○災害など非常時のスムーズな情報伝達体制をつくる	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の援護体制確立 町内会で家族構成を把握し、いざという時の協力体制 防災訓練の実施と要援護者の確認 上記のような活動を広める
3. 町内会の活動を見直そう(私たちが支えあい、助けあうまち)	
○まつりに積極的に参加してもらうための働きかけをする	<ul style="list-style-type: none"> まつりでよさこいできた まつりを継ぐ人の育成 魅力あるまつりを工夫(よさこいチームの結成)
4. 若い世代に「福祉」に参加してもらおう(私たちが支えあい、助けあうまち)	
○若い世代の自治会等の役員をターゲットに小さなことでも関わってもらおう工夫を検討する	<ul style="list-style-type: none"> 南っ子ふゆまつり、ふれあい親子まつり 親子会 子ども会と町内会がタイアップした事業 世代間交流事業(敬老会の工夫など)

27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	取組み内容
B	B	A	B			<ul style="list-style-type: none"> 継続のために、自治会で運営面の相談にのっている。 男性は普段の参加は少ないが、立ち上げ時には協力をしている。(このような関わりも大切である) <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">要望: 茶の間を包括ケアの一環と考えるのであれば、補助金の内容や金額について考慮してほしい。</p>
B	B	B	A			<ul style="list-style-type: none"> 今年から、少子化を考えて、子供会と一緒に納涼会を開催(四ツ興野)。継続して開催している自治会もある(三ヶ字)。 しろねまつり、クリスマス会を白根地区として開催している。
B	B	B	A			<ul style="list-style-type: none"> 民生委員が継続して訪問活動をしている。 日の出町や他の自治会で見守り活動をしている。 多くの自治会では、高齢者等に対して気配りをするようになった。(ごみ出しや防災訓練等の声かけ)
B	B	B	A			<ul style="list-style-type: none"> 8月に諏訪神社で行うまつり終了後の反省会には、各町内から選ばれた役員だけが参加していたが、今年からは枠を取っ払って、子ども会にも声をかけ、70人以上の住民で交流をした。(上下諏訪木~能登周辺)
27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	取組み内容
B	B	B	B			<ul style="list-style-type: none"> 回覧板: 町内によって、祭り等必要に応じて戸別配布をしている。また、挟む順番に気をつけている。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">課題: 自治会長が1年で交代する場合、引継ぎに工夫が必要。</p>
B	B	B	B			<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">課題: 運営者が高齢化している。</p>
B	B	A	A			<ul style="list-style-type: none"> 今年度は、中部と北部の合同で防災訓練を行った。この時には、コメリからの参加や白根小学校の教頭からも参加いただき、白根小の防災について説明してもらった。500人位参集した。 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">要望: 防災訓練は参加者20人以下の自治会には、補助金がでない。世帯数が少ない地域もあるので、考慮してほしい。毎年赤字であると、訓練実施の継続が難しい。</p>
27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	取組み内容
B	B	B	A			<ul style="list-style-type: none"> 北風まつりでは、様々な団体や地域住民に呼びかけを行い、踊り等の披露や参加をいただいた。
27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	取組み内容
B	B	B	A			<ul style="list-style-type: none"> 子ども会が運営しやすく、町内会から補助金等バックアップしている。 子ども会と町内会タイアップ事業の開催(納涼会等)。様々な交流から福祉や人材育成につながるの、若い世代ができないことは、元気な高齢者が活動することも大切。

なじらね ばかい〜ね いきいき ふれあい ささえあい 味方地区

確認事項	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組んだ内容等共有されていますか)	○
引継ぎをきちんとしよう (役員の交代等、計画について引継ぎがされていますか)	○
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか)	○

*それぞれの項目ごとにチェック	評価
確実に行われた場合	○
一部、行われなかった場合	△
ほとんど行われなかった場合	×

推進目標に対する評価	評価
期待される取組の90%以上達成	A
期待される取組の75%以上達成	B
期待される取組の50%以上達成	C
期待される取組の50%未満	D

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組 期待される取組
1. 閉じこもっている高齢者に外に出てもらおう (住みなれた南区で自分らしく暮らせる地域づくり)	
○地域ごとの茶の間を充実させる	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダー懇談会開催 ・趣味活動 ・お茶の間8カ所、子育てサロン1カ所開催
	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい取組など工夫が必要 ・次世代につなげる
○老人会の活動に積極的に参加する	<ul style="list-style-type: none"> ・輪投げ大会(小学生も参加) ・ゲートボール、草取り ・楽友荘でお楽しみ会(会員以外も参加)
	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある老人会で、新規会員の加入を図る ・多世代交流の場づくり
2. 交流の場を広げ、みんなで参加しよう (住みなれた南区で自分らしく暮らせる地域づくり)	
○障がい児者との交流の場をつくる	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ友の会 ・身体障がい者の集まり、運動会 ・小中学校の総合的な学習時間
	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者、健常者、高齢者混じった交流 ・顔見知りになるゲーム、食事会など
○男性ボランティアの育成を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・各種活動への参加を促す ・具体的な役割を依頼(防災等) ・核になる人の育成 ・電球の交換等、ちょこっとボランティア
○地区敬老会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・3地区ともに盛大、高齢者同士の交流の場
	<ul style="list-style-type: none"> ・新規会員の加入を図る ・敬老会を世代間交流の場として工夫

27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	取組み内容
B	B	A	A			<ul style="list-style-type: none"> ・お茶の間、子育てサロンの設置数は、現状維持 ・お茶の間に参加するとき利用者が声を掛け合い誘いあって利用者が増えた ・男性の参加が少ない
A	A	A	A			<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブが小学校で昔遊びを教えながら交流を図る ・新規会員加入者が少ない ・ボランティア活動も積極的に取り組んでいる(笹川邸の草取り、味方音頭の普及活動など)
B	A	A	A			<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者同士で研修の充実を図っている。 ・味小で総合学習を通して障がい者の理解を図っている(視覚障がい者との交流会、ブラインドサッカーなど) ・老人デイサービスへ慰問している
B	B	B	B			<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし配食サービスの配達ボラ数は現状維持 ・一部地域でゴミ出し支援実施。 ・地域で見守り活動の仕組みづくりができる。
A	A	A	A			<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会への出席者が多い。 ・敬老会余興への参加。 ・地域の伝承(こども神楽舞) ・防犯・認知症への理解

あいさつ 声かけ 思いやり つながいふっつ 獅子の里

確認事項	評価
地域の関係者で共有しよう (地域の関係者で、地域の課題、取り組んだ内容等共有されていますか)	△
引継ぎをきちんとしよう (役員の交代等、計画について引継ぎがされていますか)	△
住民にきちんと伝える機会をつくろう (地域の住民に計画の進捗状況、次年度の取り組みなどが伝えられていますか)	△

*それぞれの項目ごとにチェック	評価
確実に行われた場合	○
一部、行われなかった場合	△
ほとんど行われなかった場合	×

推進目標に対する評価	評価
期待される取組の90%以上達成	A
期待される取組の75%以上達成	B
期待される取組の50%以上達成	C
期待される取組の50%未満	D

推進目標 (区の基本目標との関連)	実施している取組 期待される取組
1. 子どもを含めての世代間交流の活動をしよう (住み慣れた南区で自分らしく暮らせる地域づくり)	
○セーフティスタッフの活動を充実させる	・月潟・大別当で5~6人が活動 ・ながら見守りで良いので、地域全体の活動へ ・スクールバス降車後、自宅までの見守り ・スタッフ確保のためにも活動のPR
○地域の茶の間に子どもたちを招いて一緒に活動する	・大別当、曲通、月潟の茶の間では、世代間交流の日を設けている ・保育園や学校に高齢者が行く ・茶の間の活動を積極的にPR ・健康センターを有効活用して、新しいイベントを実施
○ふれあいスクールを継続する	・ふれあいスクールの継続実施 ・保護者も運営スタッフとして参加 ・ボランティアの募集 ・老人クラブの協力
2. 地域の茶の間を各集落につくろう (住み慣れた南区で自分らしく暮らせる地域づくり)	
○今あるお茶の間以外にも、各集落に地域の茶の間をつくる	・既存の茶の間の実施 ・茶の間の活動を積極的にPR
○今あるお茶の間については、継続し充実していく	・既存の茶の間は継続実施 ・子育てサロン継続実施 ・魅力ある茶の間づくり
3. 地区の運動会を盛り上げよう (住み慣れた南区で自分らしく暮らせる地域づくり)	
○月潟地区全体が参加し、運動会を盛り上げ、住民同士がふれあい、交流を深める	・全集落参加の運動会の継続実施 ・地区役員の負担の軽減 ・魅力ある内容
4. ボランティア・地区のリーダーを育成しよう (住み慣れた南区で自分らしく暮らせる地域づくり)	
○今ある組織・グループの活動を若い世代に継承する	・南天の会、セーフティスタッフのメンバー募集 ・中学生の奉仕活動 ・仕事をしている人も参加できる工夫 ・世代間交流や茶の間活動のなかで、ボランティアリーダーを育成
○活動を楽しく・満足感や達成感が持てるようにする	・各団体で研修会や懇親会の実施 ・活動のPR
○個人個人の意識がアップするような啓発事業を充実する	・健康と福祉のつどいを開催 ・認知症の理解を深める活動を実施 ・啓発事業の充実

27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	取組み内容
C	C	C	C			・スタッフは現状維持でなかなか地域全体への活動にならない。 ・今後、学校や老人クラブ等と協力し、スタッフ募集のチラシを配布。(配布回数を増やす)
B	B	B	B			・子どもの数が少ない。 ・茶の間によって世代間交流を積極的に実施している。 ・お茶の間の参加者が増えない。 今後、運営内容の検討が必要。
B	B	B	B			・他からの協力が得られない。 ・今後、学校や老人クラブ等と協力し、スタッフ募集のチラシを配布。(配布回数を増やす) ・H31小学校の授業時間が増えることでふれあいスクールの実施が難しくなる。
27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	取組み内容
B	B	B	B			・5茶の間の運営支援(地区社協) ・毎月2日、7日の市日に「獅子の里」を開催しお昼の提供を始めた。
B	B	B	B			・現在、世代間交流を3カ所のお茶の間で取り組んでいる。 ・今後、各お茶の間で積極的に世代間交流を実施していきたい。 ・若い世代への呼びかけ
27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	取組み内容
A	A	A	D			・H30年度運動会は実施出来なかった。
27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	取組み内容
B	B	B	B			・中学生が地域の祭りや缶拾い等に積極的に参加している。
B	B	B	B			・ボランティアの高齢化。 ・若い世代への参加を促す。 「声かけ」
A	A	A	A			・研修会等実施をしている。 ・今後、若い世代向けの研修等の内容を検討する。